

25 journal

society&business Tokyo25 journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

大勢待市議 市長選立候補を決断 浜中市長と現新一騎打ちに

青梅市の新たな道、市民に示したい

今年11月に任期満了に伴い実施される青梅市長選に、市議の大勢待利明氏(47)が2月23日、市政報告会の中で立候補すると明かした。今寺第4・5丁目自治会館に集まった約40人の後援会員らは大きな拍手で応えた。4月の市議選は立候補せず、選挙後、改めて記者会見を開き正式表明する。市長選には浜中啓一市長が昨年5月、東京25ジャーナルのインタビューに答え「3期目を目指す」としていた。現新一騎打ちの激しい選挙戦が見込まれる。

(岡村信良)

大勢待氏は「明星大を求めている方針。都民ファーストの会は市政報告会に代表の森村隆行氏が駆け付けており、推薦について前向きに協議している。共産党は候補擁立を見送る可能性が高い。大勢待氏の立候補をめぐっては、19年の市議選で、3141票を集めたトップ当選を果たすと、周囲から「次は市長を目指すべき」と

の声が続々と挙がった。2度の市長選では浜中氏を支援したものの浜中市政には是非々々で対応。立候補を促す周りの声に踊ることなく慎重な姿勢を示してきた。

ただ、21年の都議選では自民新人と議席を争う都民ファーストの会現職の森村氏を全面的に支援。改革保守としての立場を鮮明にしてきた。市政に目を転

じると、改革は待ったなしの時期にあると判断。立候補への道を模索してきた。最終決定に至るには後援会中核と何度か議論。一部からは「1期待て」との声もあったが、これ以上の市政の停滞を見越せないとの見解で一致した。大勢待氏は、立教大学大学院を卒業後、IT関連企業に勤務。2011年市議選で初当選。以後、連続2期

市長選に向けては、2022年度に今後10年の進むべき方針を定める第7次青梅市総合長期計画を策定。継続性の観点からも3期目に臨む構えだ。

共産党が候補を見送れば19年の前回選挙に次いで現新一騎打ちになる。自民、公明の推薦を受けこれまで通りの組織戦を戦うだろう。浜中氏に対し、大勢待氏は都民ファーストの会の推薦を受けながらも保守からリベラルまで支持層の幅広さが強み。改革ビジョンをしっかりと訴えれば、自公支持者の票もしっかりと見込まれる。

勝敗の1つの鍵となるのが、青梅市で都議会の議席を失っている自民が市長まで失えないとの危機感でどこまで引き締まった選挙ができるかにある。選挙の指揮を執る井上信治衆院議員も、仮にお膝元で都議、市長を失えば自身の選挙の大きな痛手となるだけにこれまでとは力の入れ方が

き、青梅市にはこうした新しい道があることを示し、市民の判断を仰ぎたい。新たな選択肢を示し、市長選に向け準備したい」と決意を表明した。



青梅市政の現状と課題、進むべき道を語る大勢待市議(2月23日、今寺で)

無所属で立候補する方針で、所属会派の市民フォーラム青梅、統一地方選で議席獲得が見込まれる都民ファーストの会をはじめ自民党、立憲民主党、諸派の市議らに幅広く支援

一方、浜中氏は2期中途までで、若者の雇用促進にもつながるとする圏央道青梅インターチェンジ北側の物流拠点整備、梅の里の再生、市立総合病院の建て替えなどに取り組むほか、明星大青梅キャンパスの購入を検討し、活用を模索する。また、モーターボート競走事業(ボートレース多摩川)の売上を向上させ、収益による一般会計への繰り出しが2021年度は30億円に伸びている。

どこに行っても治らなかった方へ(3密対策を徹底)

秋川駅北口 (エアドック設置) **43年の実績**

太田ハリ灸治療院

042(550)5591 完全予約診療(当日予約可) 土日も診療

初診料 3,000円
治療費 3,500円 (学生2,500円)

この広告で来院した方は **初診料無料**

坐骨神経痛、ヘルニア(腰、頸椎)、脊椎管狭窄、五十肩、ひざ関節症、肩こり、エルボ(テニス・ゴルフ)、湿疹、スポーツ障害など

坐骨神経痛=お尻から足にかけて痛み、シビレで歩くことが困難な方

あきる野市出身の演歌歌手、三田りょうさんとともに、ステイジやロケ番組の収録の際、足腰の痛みなどは禁物。太田ハリ灸治療院で、万全な身体を維持しています。

治療にあたる太田院長

あきる野市秋川1-1-13ABCビル3階
秋川駅徒歩1分

●あきる野とうきゅう ●ココ(5階建ビル) ●西武信金

五日市街道

秋川駅

寺は文化の発信地 創ろう地域の文化を人から歴史から

そうぜんじ便利—弥生

第76回土曜講座 (お茶代300円) 3月4日 13時~15時

- イス坐禅とお話し 住職 高井正俊
- 講談「宮本武蔵」3 講談師 菊地 玉雲師
- 私のしてきたこと「青梅夜具地について」 元青梅市郷土資料室室長 大倉 十彌也先生

学生無料。予約不要。檀信徒以外の方の参加大歓迎。

りあるてらこや3月11日(土)午前9時~12時
主催はらいむぎハウス。子供たちの居場所作りをしてくれています。勉強したり、一緒に遊んだり、一緒に食事を作ったりと、たくさんボランティアの方々が無償の力で子供たちを見守って下さいます。無料です。

臨濟宗建長寺派 宗禅寺 羽村市川崎2丁目8-20 ☎042-554-1276